

ニカラグア定期報告（2023年8月）

【要旨】

内政面では、ニカラグアで最も歴史が古いイエズス会系の私立大学である中米大学（UCA）の資産が接收、法人格が取り消され、同大学は新たに「カシミロ・ソテロ・モンテネグロ国立大学」に変更された。外交面では、中国とのFTA協定に署名が行われた。経済面では、2023年第2四半期における年間の郷里送金額が、去年同期比58.6%増で過去最高額の22億1,500万米ドルとなった。また、中銀が、2024年1月1日より、ニカラグア通貨コルドバの対米ドル為替レートを、1米ドル36.6243コルドバで固定すると発表した。

【主な出来事】

1 内政

（1）中米大学（UCA）の接收

ア 15日、マナグア第10区刑事裁判所は、イエズス会系の私立大学UCAがテロ活動を行った等として、大学の不動産や資金を接收する命令を発出した。また18日、義務とされている財務諸表の未提出や執行部役員に任期切れ等を理由として、UCAの法人格を取り消した。

イ 17日、ニカラグア政府は、大学名を、サンディニスタの元ゲリラ戦士であり元UCA学生センター長でもあった人物の名前を冠し「カシミロ・ソテロ・モンテネグロ国立大学」に変更した。また、同変更に当たり、学長、副学長、事務局長の新人事も発表された。

（2）イエズス会ニカラグア本部の法人格取消

23日、内務省（MIGOB）は、イエズス会ニカラグア本部（イエズス会中米教会管区に所属。総本部はエルサルバドル）に対し、2020年から22年までの財務状況が未報告であるとして法人格の取消、及び全資産を接收した。

2 外交

（1）中国

ア 21日、マナグアで開催された中米議会（PARLACEN）総会において、ニカラグア会派の要請を受け、中国の同議会へのオブザーバー国としての加入及びそれまでオブザーバー国であった台湾の資格無効が承認された。これについて翌22日、台湾はこれに抗議し、オブザーバー国の即時辞退を表明した。

イ 30日、これまでに実質合意を発表していた中国とのFTA協定の署名式が実施された。なお、ニカラグア側は、同FTAを明年1月から発効させたいとしている。

(2) BRICSへの6カ国新規加盟に対する祝意表明

24日、ニカラグア政府は、南アフリカで開催されたBRICS首脳会議において新たに6カ国の加盟が承認されたことに對し、多極化した世界を強化することに繋がる等述べ、祝意を表明した。

(3) 「南オセチア」

26日、モンカダ外相は「南オセチア」を訪問し、ガグロエフ大統領等と会談した。同訪問中、両国の有意義な関係の発展に貢献したとして、ガグロエフ大統領よりモンカダ外相へ友好叙勲が授与された。

3 経済

(1) 郷里送金の増加

1日、ニカラグア中央銀行（BCN）は、2023年第2四半期における年間の郷里送金額が、昨年同期比58.6%増の22億1,500万米ドルであったと発表した。

(2) 対米ドル為替レート固定

9日、BCNは、2024年1月1日より、ニカラグア通貨単位であるコルドバの対米ドル為替レートのスリップレート（tasa de deslizamiento）を0%に変更し、1米ドル36.6243コルドバで固定すると発表した（注：ニカラグアでは、1993年からクローリングベッグ制（為替レートを事前に公表したレートで小刻みに切り下げずる制度）が導入されてきた）。

(3) 総輸出額

11日、BCNは、2023年第2四半期におけるフリーゾーン輸出を含む総輸出額は、昨年同期間比5.1%増の19億6,830万米ドルであったと発表した。

<主要経済指標>

	2021 年 6 月	2022 年 6 月	2023 年		
			5 月	6 月	7 月
年間累計インフレ率	2.60%	6.66%	2.73%	3.63 %	3.39%
貿易収支（百万ドル）	▲205.1	▲317.2	▲254.1	▲306.8	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	316.5	365.4	389.7	340.5	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	521.6	682.7	637.1	647.3	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	263.7	171.9	426.2	394.2	408.9
外貨準備高（百万ドル/期末）	3,611.8	4,348.4	4,974.4	4,989.1	5,115.5

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））